



さちが丘小学校 学校だより

若竹

9 月 号

令和2年9月1日

横浜市立さちが丘小学校

校長 中澤 道則

TEL.361-0777 FAX.361-0787

WEB ページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/sachigaoka/>

「防災の日」に…

学校長 中澤 道則

8月も終わり、連日の猛暑の中、アブラゼミよりヒグラシの鳴き声が目立つようになってきました。今日、9月1日は防災の日。今から97年前、関東地方に甚大な被害をもたらした関東大震災(1923年)が発生した日です。この震災で亡くなったり行方不明になったりした方は10万人以上。横浜においても死者・行方不明者2万6000人以上、倒壊した家屋が1万6000棟以上という大きな被害が報告されました。

関東大震災では発災したのが昼時であったことから火災が発生しました。また、日本海沿岸を北上する台風の影響で強風が吹いていたので、その火災は大きく燃え広がり多くの方の命を奪いました。この火災は鎮火するまでにまる2日以上かかったと言われています。一方、今から25年前(1995年)の阪神・淡路大震災では建物の倒壊によって亡くなった方が多くを占めています。そして9年前の東日本大震災(2011年)では津波による被害者が…。地震だけではありません。最近では九州地方をはじめとして毎年のように豪雨による土砂災害が発生しています。「自然災害」は様々な形で私たちの生活を脅かしているのです。

さて、防災の日を迎えるにあたり学校でも避難訓練が行われました。今年度は新型コロナ・ウイルス感染拡大防止のため、通常のような形では行えませんでした。子ども達と共に「防災」について真剣に考えました。新型コロナ・ウイルス感染症拡大防止のため、今年度はじめてとなった今回の避難訓練。1年生も上手に並んで避難することができました。さちが丘小の子ども達は避難訓練にいつも本当に真剣に取り組んでくれます。この前の「緊急地震速報」の時にもどの学年も素早く「退避行動」をとることができていました。このような日々の積み重ねは「万が一」のために行うものです。そんな時にも「万が一」は「1万回目に来る」のではなく「明日にでもその1回は来るかもしれない」という気持ちで取り組んでほしいと思っています。



今から97年前。発災時は朝から降っていた雨もやみ、青空も見えたと伝えられています。その日も今と同じようにヒグラシが鳴いていたのでしょうか。災害はそんな日常を一瞬のうちに奪い去ります。「備えあれば憂いなし」。今日、「防災の日」に改めて「日頃の備え」を見直していきたいものです。まだまだ暑い日が続きます。学校においても新型コロナ・ウイルス感染拡大防止と熱中症予防に努めつつ、子ども達が笑顔で学校生活を送ることができるよう、努めてまいります。保護者、地域の皆様におかれましても引き続きご理解、ご協力のほどよろしくお願い致します。